竹田市立南部幼稚園　11月上旬（11月2日～15日）「秋のお店屋さんごっこ」

【ねらい】秋の自然物を遊びに取り入れ，友だちと考えを出し合い，工夫したり協力したりしながら，遊びを進めていく楽しさを味わう。

【内　容】秋の自然物を使って，友だちと一緒にお店屋さんごっこを楽しむ。

【遊びのプロセス】＊遊びの中で育まれている資質・能力を下のように表している

知識・技能の基礎　思考力・判断力・表現力等の基礎　学びに向かう力・人間性等

子どもたちは，秋のバス遠足や園外保育で拾ってきた自然物を自分のあそびに取り入れて楽しんでいる。そこで保育者が「ドングリやまつぼっくり，落ち葉を使ってクラスみんなで何かして遊べないかな？」と言葉をかけると，「お店屋さんごっこをしよう！」ということになった。

1日目

興味・関心をもつ　気付く，イメージをもつ

おもちゃ屋さんに，ゲームするところも作ろう！

いいね!!

どんなお店屋さんにするかをみんなで相談して決める。（おもちゃ屋さん/ペットショップ/服屋さん/レストラン）

願いをもつ

ケーキ屋さんがいい！

ラーメン屋さんがいい！

お寿司屋さんになりたい！

共感する

自分のやりたいお店屋さんを選ぶ。

考えを伝え合う，イメージを共有する

T　人が足りないね…ケーキもラーメンもお寿司も食べられるお店はないかな？

共感する

それなら，レストランにすればいい!!

2～3日

お店屋さんで売る物をつくる

ペットをお散歩させたいけど，上手くできん。

T　Bちゃんが上手に作っているよ。どうやって作ったか聞いてみたら？

教え合う

工夫する，試す

作ったものを置くところがいるよ！

机を出せばいいんじゃない？

気付く，イメージをもつ

4日目

作った品物を並べる。

協同する

なんか少ない…みんなの分がないから，もっと作らんと！

気付く

Aくんの考えいいね！私もやってみたい！どうやるの？教えて！

品物をもっとつくる

お店の看板がいるよ！

お店にある本みたいなのも作りたい！

振り返る，見通しをもつ

5日目

工夫する，試す

看板にもドングリをいっぱいつけよう！

この看板，どこに置く？

お店に必要な物（看板やメニュー表など）をつくる

T　ステキなお店ができたね！他にいるものはないかな？

私も作る！

T　メニュー表のことかな？よく気づいたね！お店に何があるか分かるからいいね！

共感する

6日目

気付く，イメージをもつ　工夫する，試す

お金がいるよ！

お財布もいる！

レジも作らないと！

お客さんに必要な物（お金とお財布など）をつくる

7日目～

気付く，イメージをもつ　工夫する，試す

共感する

お店屋さんやお客さんになって遊ぶ。

工夫する，試す

協同する

お店屋さんがいなくて買えなかった。

お客さんがいなくて困った。

T　それは困ったね・・・どうしたらいいかな？

振り返る，見通しをもつ

お店屋さんとお客さんをかわりばんこにすればいいい！

T　いい考えだね！順番はどうやって決めようか？

お店屋さんとお客さんを交替しながら，お店屋さんごっこをする

工夫する，試す

いらっしゃい！たこ焼きおいしいですよ～！

いらっしゃい！かわいいペットとお散歩できますよ～！

協同する，繰り返す

お店屋さんのお友だちで相談する。

それがいい！

先にお客さんしてもいいよ。

共感する

□環境の構成 **◇援助のポイント**	□お店屋さんや秋の自然物に関する絵本を読み聞かせたり，絵本コーナーに設置して自由に見たり読んだりすることができるようにする。 □子どもたちが遊びやすいように，拾ってきたドングリを茹でたり，落ち葉を新聞紙に挟んで押し葉にしたりするなどの下準備をする。また，子どもたちの発想が豊かになるように十分な量を用意するとともに，使いやすいように種類ごとに分けて配置する。 □ドングリやまつぼっくりなどの自然物や，空き箱などの廃材，セロテープなどの道具を使いたいときに自分たちで出して遊べるように配置するとともに，子どもの要望や状況に応じたタイミングで素材や道具を提示する。 ◇遊びが発展していくように，様子を見ながら声をかけたり，子どもの思いや気づきに共感したりして，周りに広げる。 ◇共通の目的を意識して遊びを進められるように，振り返りの場では，作った物を紹介したり，気づきや考えを出し合ったりして，みんなで共有するようにする。また，困りに対しては，「どうしたらいいか」をみんなで考えたり相談したりするように促し，解決策を子どもと一緒に考える。

【本活動・遊びで着目したい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】

自然との関わり・生命尊重

協同性

みんなでお店屋さんごっこを楽しむという共通の目的の実現に向けて，考えたことを伝え合いながら，工夫したり，協力したりし，充実感をもって自分たちで遊びをすすめている。

言葉による伝え合い

感じたことや気付いたことを友だち同士で伝え合い，相手の考えに共感して取り入れたり，相談して決めたりすることで協同性が高まり，遊びがより発展していっている。

社会生活との関わり

【小学校以降へつながる資質・能力】

≪知識・技能の基礎≫	≪思考力・判断力・表現力等の基礎≫	≪学びに向かう力・人間性等≫
・お店屋さんごっこに必要な物に気付く。 ・お店屋さんごっこに必要な物を作るために，いろいろな素材の性質や道具をうまく使い，自分のイメージを実現させていく。 ・お店屋さんとお客さんのやり取りを楽しみながら，関わり方に気付く。	・試したり工夫したりする。 ・自分なりの表現をする。 ・友だちの考えに触れ，新しい考えを生み出す喜びや楽しさを知る。 ・活動を振り返り，次への見通しをもったり，遊びをよりよくするためにどうしたらいいかを考えたりする。	・好奇心や探求心をもち，主体的に遊ぶ。 ・目的を共有し，話し合ったり，時には折り合いをつけたりして協力する。 ・友だちのよさに気づき，自分も取り入れて遊ぶ。